

請求の範囲

- [請求項1] マグネシウム、チタン、ハロゲンおよび1, 3-ジエーテル化合物を含有するオレフィン類重合用固体触媒成分であって、
 該オレフィン類重合用固体触媒成分に含まれる前記1, 3-ジエーテル化合物の割合が2. 50～15. 00質量%であり、
 前記オレフィン類重合用固体触媒成分の比表面積が250 m²/g以上である
 ことを特徴とするオレフィン類重合用固体触媒成分。
- [請求項2] 細孔容積が0. 250～1. 000 cm³/gである請求項1に記載のオレフィン類重合用固体触媒成分。
- [請求項3] 前記1, 3-ジエーテル化合物が、下記一般式(1)；

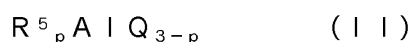
$$R^1OCH_2CR^2R^3CH_2OR^4 \quad (1)$$
 (式中、R²およびR³は、水素原子、ハロゲン原子、炭素数1～12のアルキル基、ビニル基、炭素数3～12のアルケニル基、炭素数3～12のシクロアルキル基もしくはシクロアルケニル基、炭素数6～12の芳香族炭化水素基もしくはハロゲン置換芳香族炭化水素基、置換基を有する炭素数7～12の芳香族炭化水素基、炭素数1～12のアルキルアミノ基または炭素数2～12のジアルキルアミノ基を示す。R²およびR³は、互いに同一であってもよいし異なってもよい。R²およびR³は、互いに結合して環を形成してもよい。R¹およびR⁴は、炭素数1～12のアルキル基、ビニル基、炭素数3～12のアルケニル基、炭素数3～6のシクロアルキル基、炭素数6～12の芳香族炭化水素基もしくはハロゲン置換芳香族炭化水素基または置換基を有する炭素数7～12の芳香族炭化水素基を示す。R¹およびR⁴は、互いに同一であってもよいし異なってもよい。)で表される化合物から選ばれる一種以上である請求項1に記載のオレフィン類重合用固体触媒成分。
- [請求項4] 請求項1に記載のオレフィン類重合用固体触媒成分の製造方法であ

って、

比表面積が $5 \text{ m}^2/\text{g}$ 以上であるマグネシウム化合物と、四価のチタンハロゲン化合物と、1, 3-ジエーテル化合物とを相互に接触させることを特徴とする請求項1に記載のオレフィン類重合用固体触媒成分の製造方法。

[請求項5] 請求項1に記載のオレフィン類重合用固体触媒成分と、下記一般式

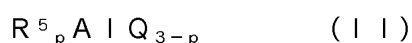
(I I)



(式中、 R^5 は、炭素数1～6のアルキル基であり、Qは、水素原子またはハロゲン原子であり、pは、 $0 < p \leq 3$ の実数である。)で表される化合物から選ばれる一種以上の有機アルミニウム化合物とを含むことを特徴とするオレフィン類重合用触媒。

[請求項6] 請求項1に記載のオレフィン類重合用固体触媒成分と、下記一般式

(I I)



(式中、 R^5 は、炭素数1～6のアルキル基であり、Qは、水素原子またはハロゲン原子であり、pは、 $0 < p \leq 3$ の実数である。)で表される化合物から選ばれる一種以上の有機アルミニウム化合物とを、相互に接触させる

ことを特徴とするオレフィン類重合用触媒の製造方法。

[請求項7] 請求項5に記載のオレフィン類重合用触媒を用いてオレフィン類を重合することを特徴とするオレフィン類重合体の製造方法。

[請求項8] 前記オレフィン類の重合が、プロピレン単独重合であるか、プロピレンおよびプロピレン以外の α -オレフィンの共重合である請求項7に記載のオレフィン類重合体の製造方法。